

平成23年度当初予算案の 概要についてお知らせします

**一般会計218億6,000万円、投資的事業を抑え市債残高を減らす！
 税込減にも耐えうる強固な財政基盤を目指して**

平成23年度においては、歳入の根幹を成す市税が本格的な下降局面に転じ、平成22年度予算と比較し約4億3千万円の減収となるなど、地方財政にあっても予断を許さない事態となっています。逼迫する国・県の財政状況を踏まえ、補助金の削減などに翻弄されることのない強い財政基盤の確立を喫緊の課題として、一般会計218億6千万円、全8会計合わせて356億5,800万円の予算を編成しました。

歳入では、個人市民税が対前年度比約11%減、約5億7,600万円の減収となる一方で、地方交付税が67.5%、約5億5千万円の増額となるほか、子ども手当などにより国庫支出金が11.3%、約3億円の増額となっています。また、学校給食費を一般会計に組み入れたことにより、諸収入が80.6%、約3億7千万円の増加、市債については、22.4%減、約4億円の減額となっています。

歳出では、人件費が退職手当負担金の増加や非常勤職員の月給制導入などにより対前年度比1.4%、約6,100万円の増加、扶助費が子ども手当や民間保育園の運営費負担の増額に伴い12.7%、約4億5,700万円の増加、また、物件費は学校給食費を一般会計へ組み入れたことによる賄材料費、また電算システムの入替えなどにより17.7%、約6億6千万円の増加、投資的経費は市道23号線延伸分改良舗装の実施や前年度におけるひたち野うしく小学校プール建設などに伴い、14.8%減、約3億3,100万円の減額となっています。

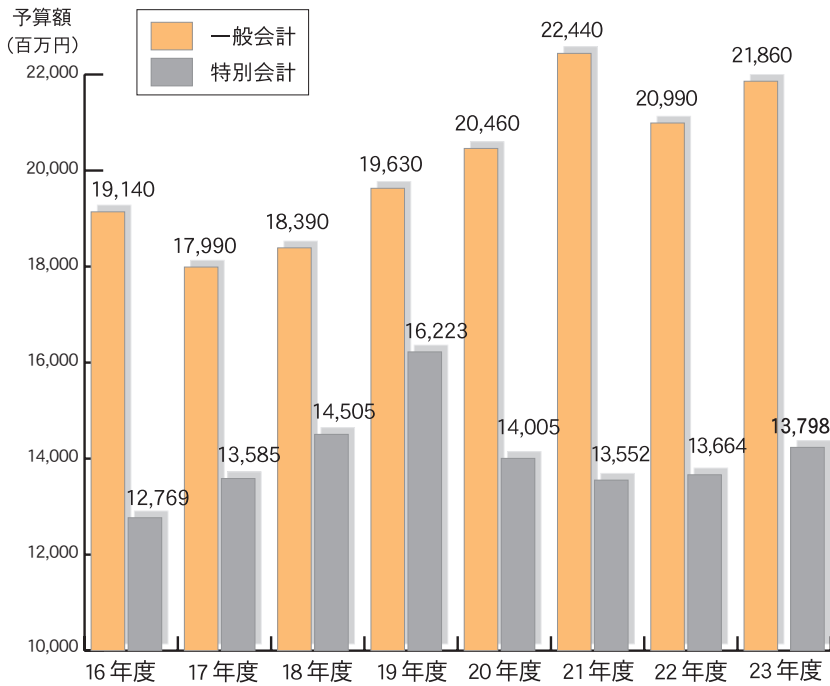
牛久市各会計予算 (単位：千円、%)

会計名	平成23年度		平成22年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	21,860,000	61.3	20,990,000	60.6	870,000	4.1
国民健康保険事業	7,370,000	20.7	7,206,000	20.8	164,000	2.3
公共下水道事業	2,208,000	6.2	2,409,000	7.0	△201,000	△8.3
青果市場事業	22,600	0.1	22,500	0.1	100	0.4
老人保健事業	0	0.0	6,000	0.0	△6,000	皆減
小規模水道事業	48,400	0.1	44,500	0.1	3,900	8.8
介護保険事業	3,174,000	8.9	3,028,000	8.7	146,000	4.8
工業用地造成事業	37,000	0.1	34,000	0.1	3,000	8.8
後期高齢者医療事業	938,000	2.6	914,000	2.6	24,000	2.6
特別会計合計	13,798,000	38.7	13,664,000	39.4	134,000	1.0
合計	35,658,000	100.0	34,654,000	100.0	1,004,000	2.9

- ◆国民健康保険事業特別会計は、一般被保険者への保険給付費の増加により対前年度2.3%増の73億7,000万円
- ◆公共下水道事業特別会計は、雨水建設事業費の減額により対前年度8.3%減の22億800万円
- ◆老人保健事業特別会計は、後期高齢者医療事業への移行に伴い、廃止となりました。
- ◆小規模水道事業特別会計は、維持補修工事費の増加により対前年度8.8%増の4,840万円
- ◆介護保険事業特別会計は、保険給付費の増加により、対前年度4.8%増の31億7,400万円
- ◆工業用地造成事業特別会計は、業務委託の増加などにより対前年度8.8%増の3,700万円
- ◆後期高齢者医療事業特別会計は、保険給付費の増加により対前年度2.6%増の9億3,800万円となりました。

子ども手当などの事業費を除き実質的な予算は約201億円、 さらに身の丈に合った予算規模へ

年度別当初予算額の推移



平成22年度一般会計当初予算、209億9千万円の内、国の施策に伴う子ども手当分は約10億円計上され、これを除くと約200億円の予算規模となっています。

一方、平成23年度一般会計当初予算では、子ども手当や学校給食費を一般会計に組み入れたことなどに伴い、約17億円、当初予算が膨らむ形となっており、実質的には、昨年とほぼ同額の約201億円、今後、市税はさらに落ち込みが予測されており、増加する扶助費に対応していくためには、人件費、公債費、物件費などの縮減をさらに図っていかねばなりません。その上で、多様化する行政需要に応え、魅力あるまちづくりのための投資的事業費をいかに捻出していけるかが最も重要となります。

多様化する市民ニーズを的確に捉え、 限られた財源を必要とされる施策・事業に重点的に配分

平成23年度の新規または特徴的な事業としては…

総務・衛生

- ・ 筑波大学との官学連携
- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 防犯灯電気料補助金の増額
- ・ 集会所整備に対する補助
- ・ 子宮頸がん、ヒブワクチン接種の助成
- ・ 犬猫の不妊・去勢手術の補助
- ・ 生ごみ堆肥化モデル事業の推進

民 生

- ・ 民間保育園への運営支援
- ・ 地域介護拠点などの整備への助成
- ・ 特別保育実施施設の拡大
- ・ 障害者の自立に向けた施策の推進
- ・ 地域活動支援センター機能の拡充
- ・ 医療福祉費支給制度の推進
- ・ 一人暮らし世帯などへの生活支援、見守り

農業・商工・消防

- ・ 耕作放棄地の拡大防止
- ・ 畜産農家の経営支援
- ・ ハートフルクーポン券の増額
- ・ 牛久沼周辺の整備
- ・ 消防車の管理

土 木

- ・ 市道23号線(北側延伸分)の整備
- ・ 雨水対策としての道路排水溝整備
- ・ 雨水対策としての田宮西近隣公園整備
- ・ 結束川の拡幅整備計画の策定
- ・ 公園施設長寿命化計画の策定

教 育

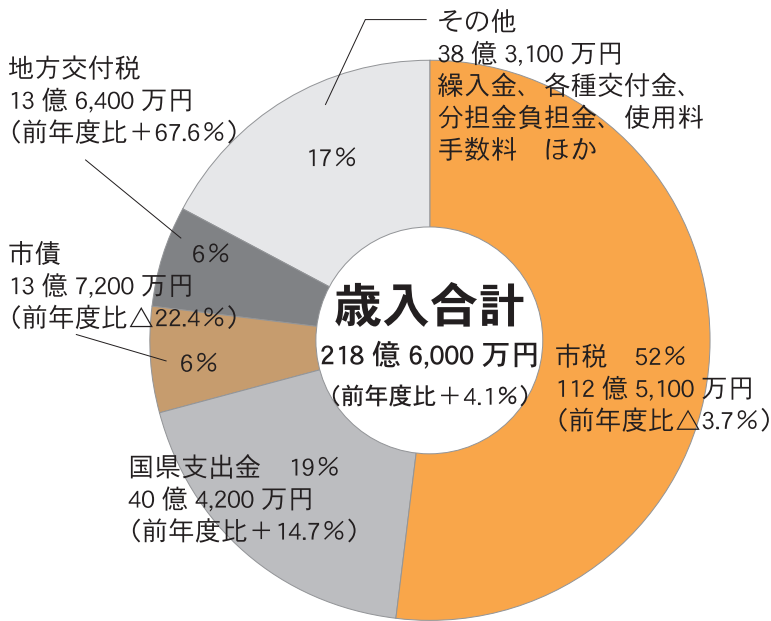
- ・ ひたち野うしく小学校プール民間開放
- ・ 牛久運動公園野球場の改修
- ・ エスカート生涯学習センターの改修
- ・ 第4回小川芋銭展開催
- ・ 学校給食費の一般会計への組み入れ

特別会計

- (国民健康保険事業)
- ・ 特定健康診査・特定保健指導の実施
- (公共下水道事業)
- ・ 長寿命化計画に基づく下水管渠改修
- (介護保険事業)
- ・ 認定者に対する介護サービスの実施

(4ページに続く)

問い合わせ 市行政経営課 ☎ 内線3301



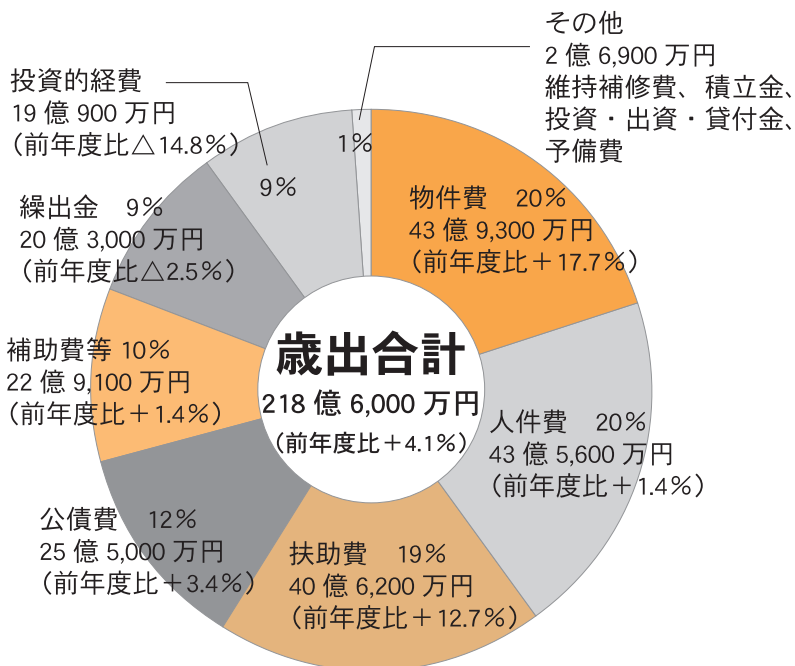
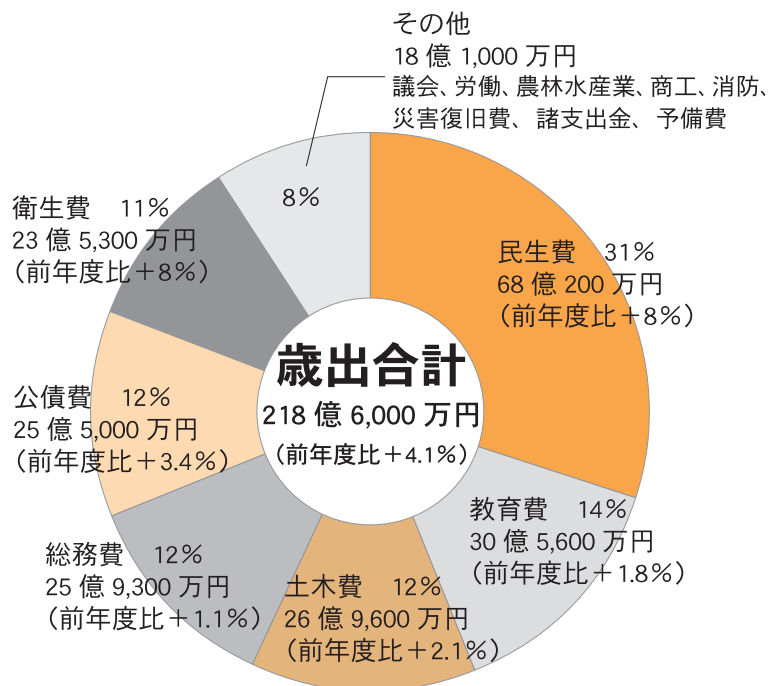
【一般会計歳入予算】

歳入では市税の内、特に個人市民税の減収が約5億7,600万円、約11%減となっており、市税全体で対前年度比3.7%の減はこれまでで最大の落ち込みとなっています。

また、市債は、残高の減少に向けた発行抑制により、22.4%、約4億円の減少となっており、これまで以上の歳出削減と合わせて企業の誘致や若年層の転入増など、税収減を支える施策の取り組みがますます重要となります。

【一般会計目的別歳出予算】

目的別歳出予算の内訳を見ると全体の31%を占める民生費が、民間保育園運営支援や子ども手当の増加などにより対前年度比8.0%の増加、教育費では、牛久運動公園野球場改修や学校給食運営費およびひたち野うしく小学校プール建設費などの増減により、1.8%の増加、また、土木費が市道23号線の整備などにより2.1%の増加、衛生費が予防接種の助成費の増加などにより8.0%の増加となっています。



【一般会計性質別歳出予算】

財政構造を分析するために、一般会計の歳出をその経済的性質を基準として分類したものが左の性質別予算です。

構成割合は、物件費、人件費、扶助費の順となっています。物件費の伸びが高いのは、学校給食費を新たに一般会計へ組み入れたことによるものです。

また、投資的経費については、ひたち野うしく小学校プール建設費が主な要因で、前年度に比べて減少しています。